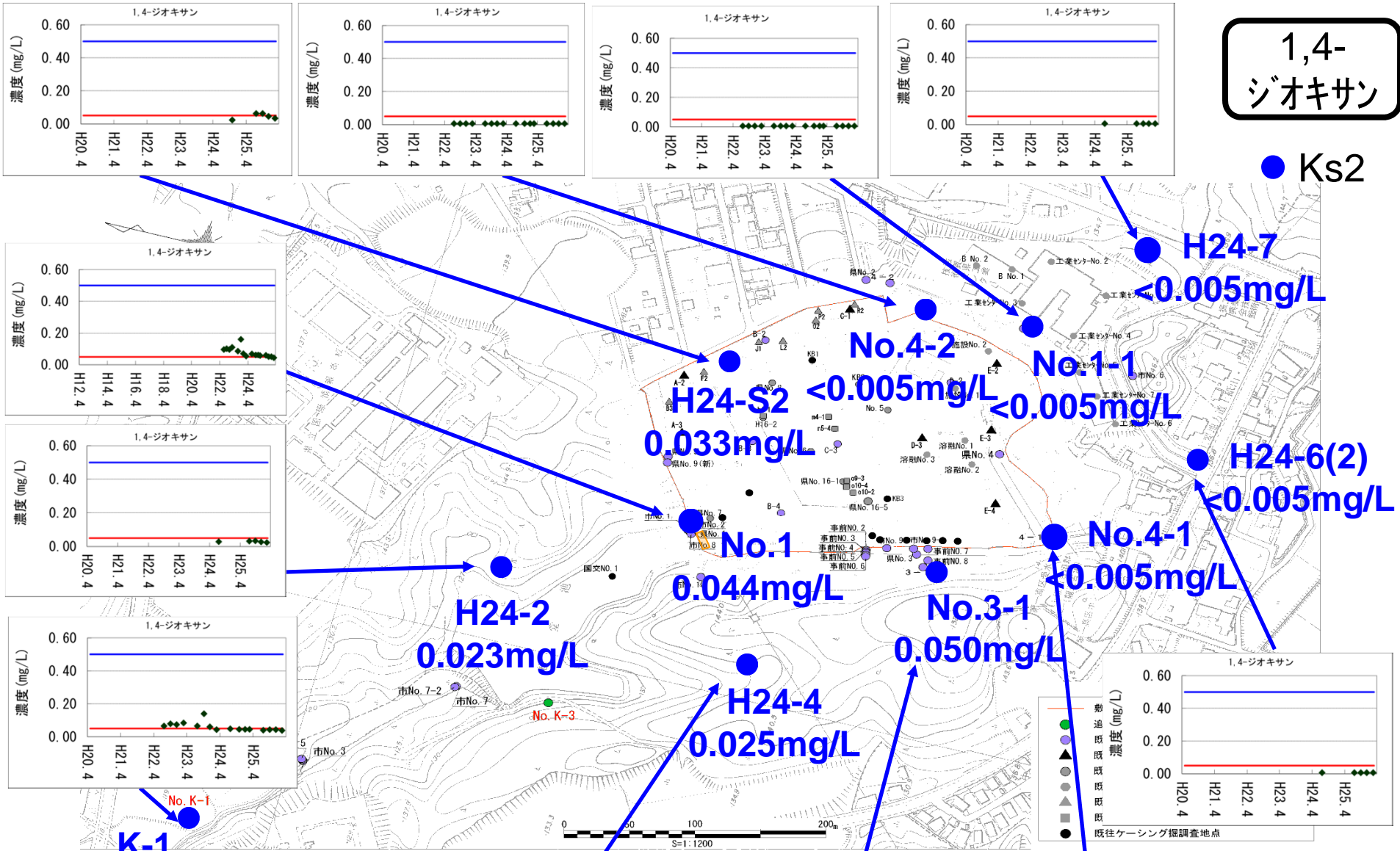
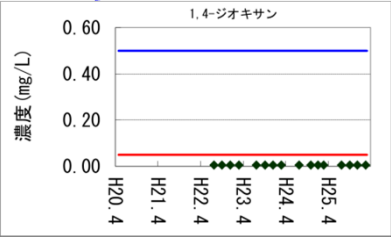
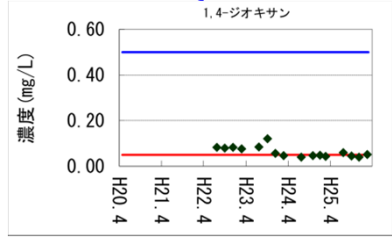
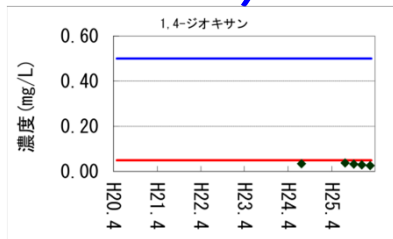


1,4-ジオキサン

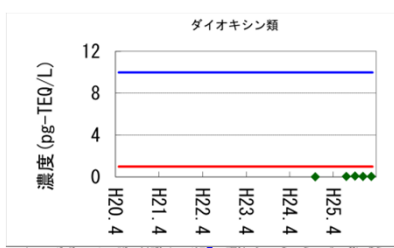
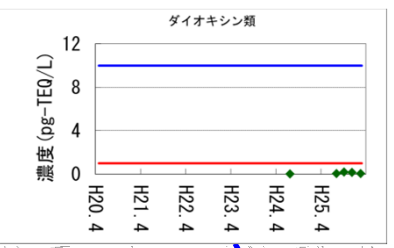
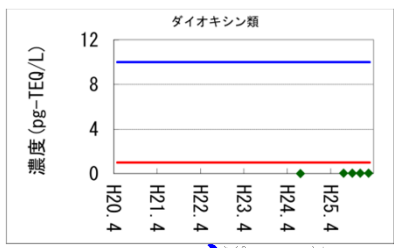
● Ks2



環境基準  
0.05mg/L



# ダイオキシン類

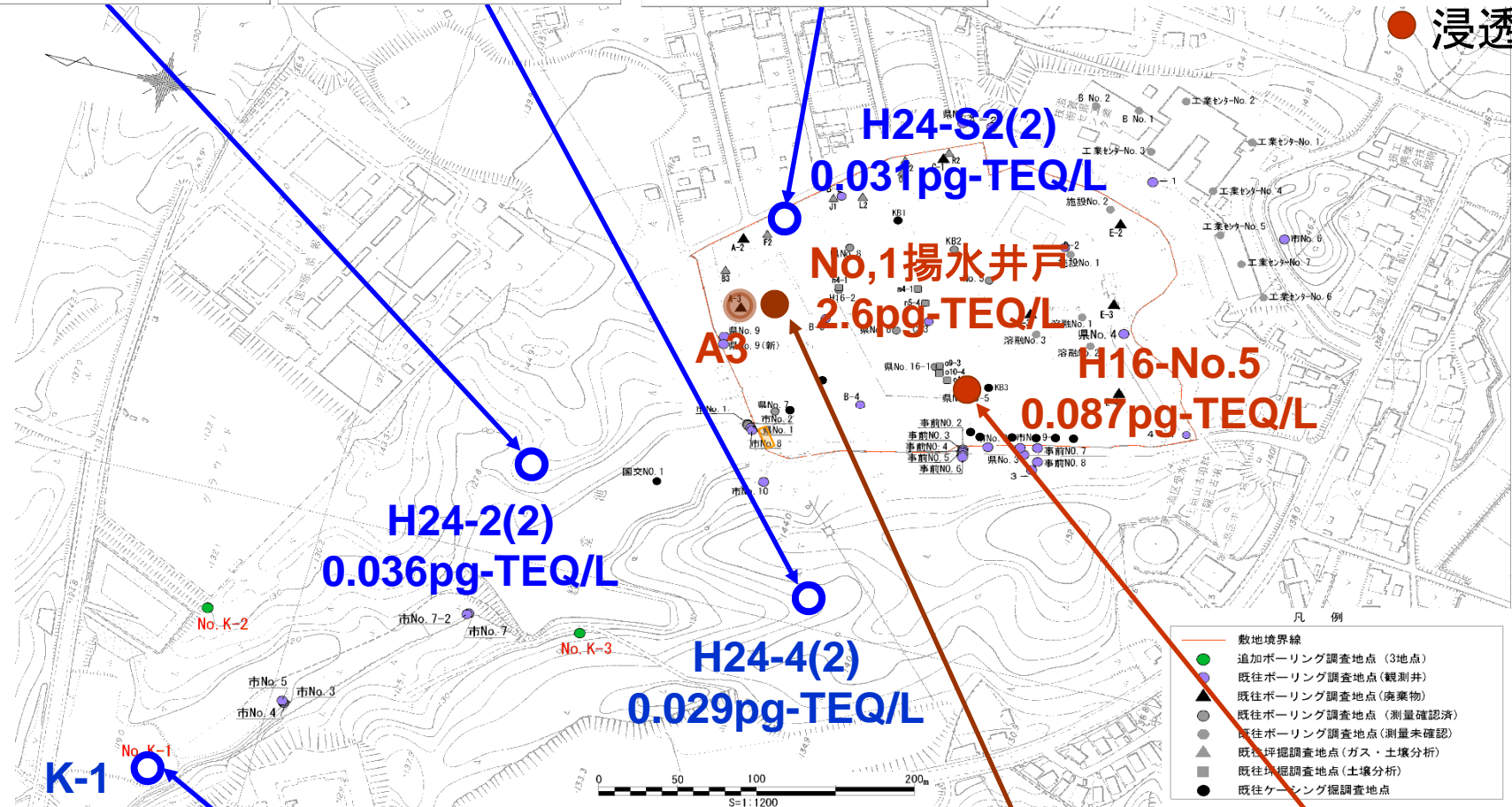


管理型最終処分場  
排水基準

環境基準

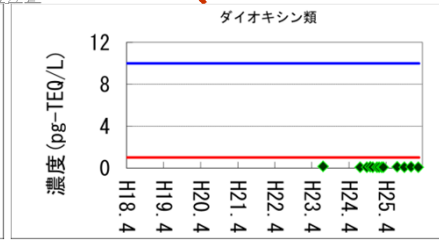
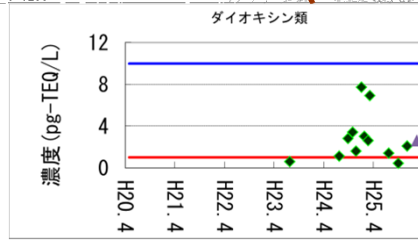
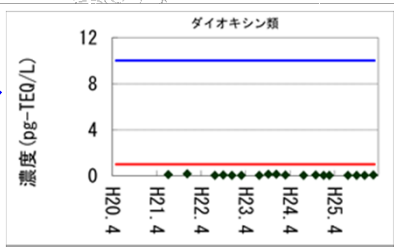
○ Ks3

● 浸透水



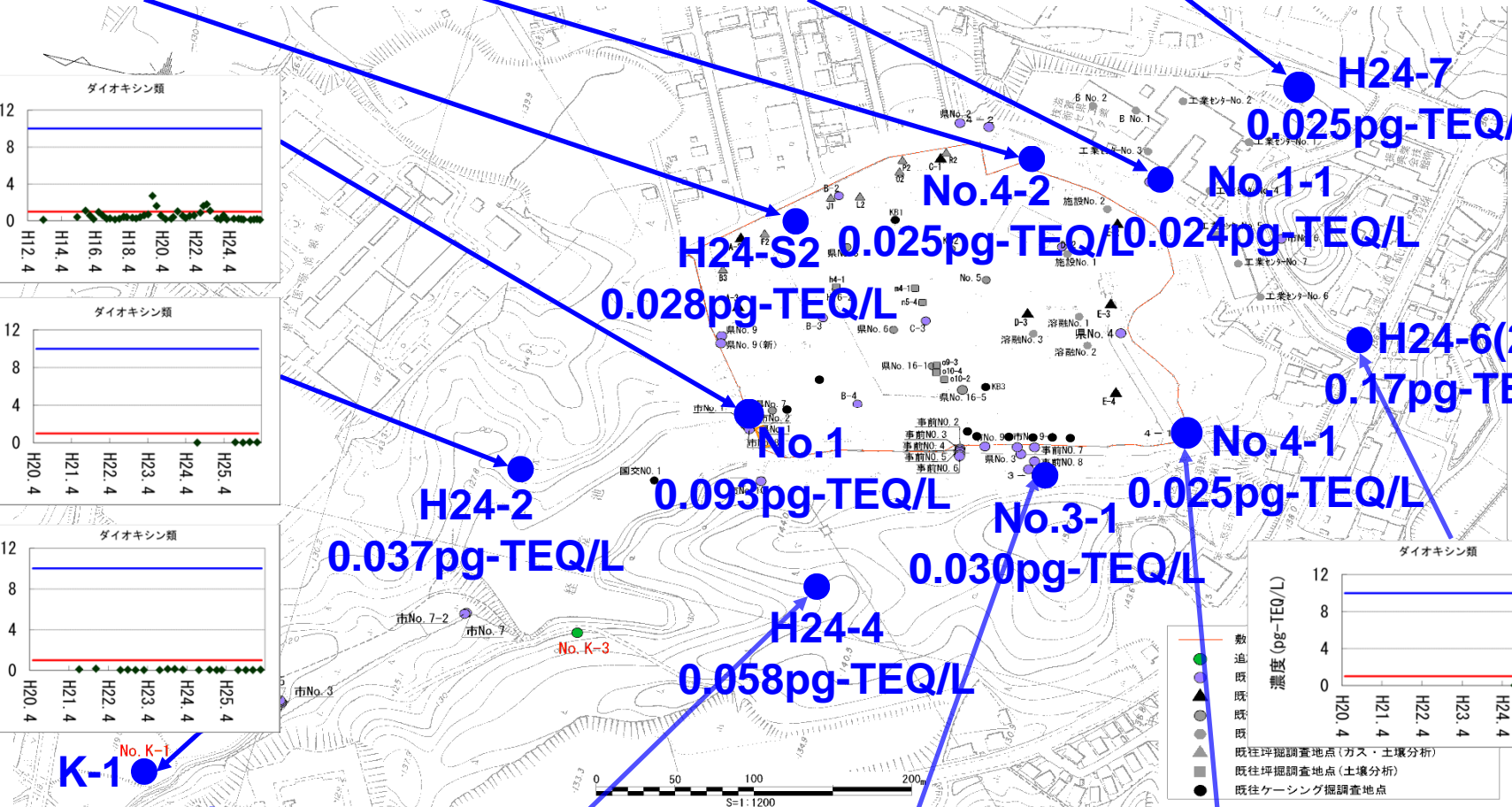
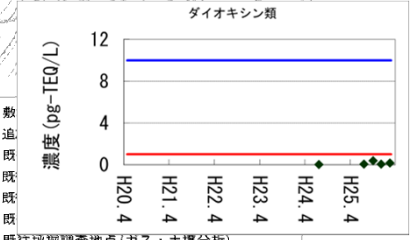
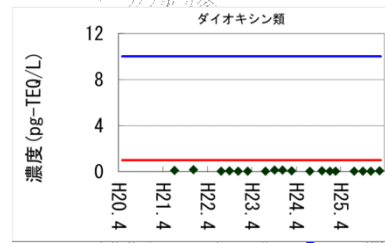
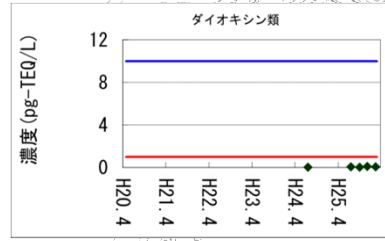
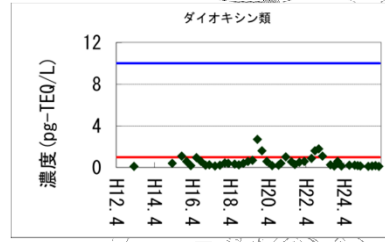
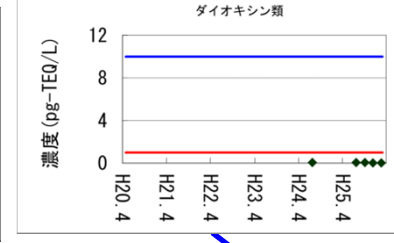
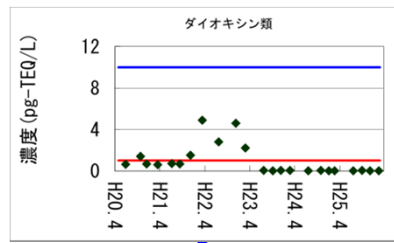
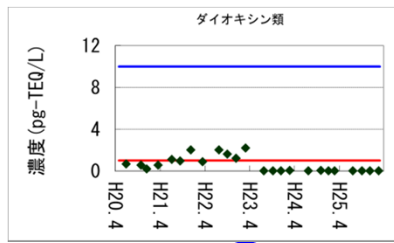
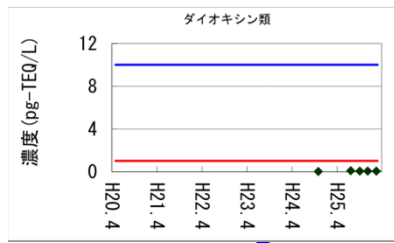
- 敷地境界線
- 追加ボーリング調査地点 (3地点)
- 既往ボーリング調査地点 (観測井)
- 既往ボーリング調査地点 (廃棄物)
- 既往ボーリング調査地点 (測量確認済)
- 既往ボーリング調査地点 (測量未確認)
- 既往評価調査地点 (ガス・土壌分析)
- 既往評価調査地点 (土壌分析)
- 既往ケーシング掘調査地点

環境基準  
1pg-TEQ/L

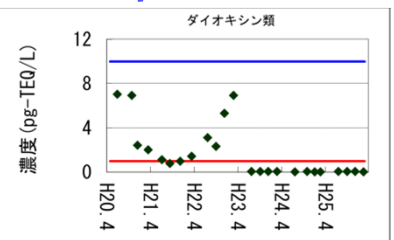
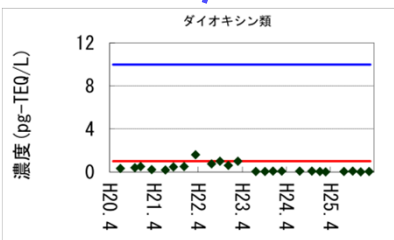
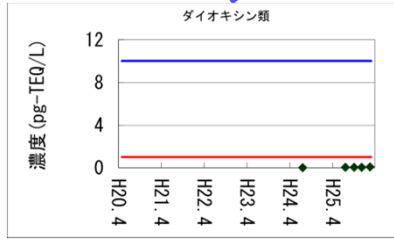


# ダイオキシン類

● Ks2



**環境基準**  
1pg-TEQ/L



## 調査結果

### BOD・COD

- 廃棄物処理法で定める安定型最終処分場の浸透水の維持管理基準超過地点 なし

### 砒素

- 地下水環境基準超過地点  
【浸透水】: No.1揚水井戸  
【地下水(Ks3)】: H24-S2(2)  
【地下水(Ks2)】: H24-7、H24-S2、No.3-1
- これまで検出されていた4地点(H24-S2(2)、H24-7、H24-S2、No.3-1)については概ね横ばいで推移しており、大きな変化は見られない。
- 浸透水井戸A-3でサンプリングができなかったため、上流側約10mの地点にあるNo.1揚水井戸で採水したところ、砒素が環境基準の5倍程度検出された。単純比較できないが、No.1揚水井戸が稼働した時期にA-3で同程度の砒素が検出されたことがある(0.037mg/L)。

### ふっ素

- 地下水環境基準超過地点 なし
- 浸透水および地下水ともにほぼ横ばいで推移しており、大きな変化は見られない。

### ほう素

- 地下水環境基準超過地点  
【浸透水】: H16-No.5、No.1揚水井戸  
【地下水(Ks3)】: なし  
【地下水(Ks2)】: No.1、No.3-1、H24-4
- 浸透水および地下水ともに経年的に見るとほぼ変化なく推移している。環境基準値を超過している地点もあるため、今後もモニタリングを重ね、結果を注視していく。

### 鉛

- 地下水環境基準超過地点  
【浸透水】: No.1浸透水井戸  
【地下水(Ks3)】: なし  
【地下水(Ks2)】: なし
- 検出されている地点については、環境基準値程度の濃度で、ほぼ横ばいで推移しており、大きな変化は見られない。

## 水銀

- 地下水環境基準超過地点 なし
- 変動は見られない

## 1,2-ジクロロエチレン

- 地下水環境基準超過地点 なし
- Ks2層のNo.1で環境基準を超過していたが、低下傾向にあり、H23.10から環境基準値を下回っている。

## 塩化ビニルモノマー

- 地下水環境基準超過地点  
【浸透水】:なし  
【地下水(Ks3)】:なし  
【地下水(Ks2)】:K-1
- Ks2層のK-1で環境基準を超過した。年間最大値であるが、経年的にみると低下傾向である。Ks2層のNo.1はH22.7に調査を開始してから初めて環境基準以下となり、経年的にも大きく低下している。
- 塩化ビニルモノマーは1,2-ジクロロエチレンと同じ挙動を示していることから、1,2-ジクロロエチレンの分解によって生成したものと考えている。

## 1,4-ジオキサン

- 地下水環境基準超過地点  
【浸透水】:なし  
【地下水(Ks3)】:H24-2(2)  
【地下水(Ks2)】:なし
- 環境基準を超過したH24-2(2) (Ks3層)については今年度より調査を開始し、数値変動が大きい地点なので傾向はわからない。今後モニタリングを重ね結果を注視していく。
- 浸透水およびKs2層については今回全地点で環境基準以下となった。変動があるが、経年的に見て低下傾向にある。

## ダイオキシン類

- 地下水環境基準超過地点  
【浸透水】:No.1揚水井戸  
【地下水(Ks3)】:なし  
【地下水(Ks2)】:なし
- 浸透水のA-3で今回採水できなかったもので、約10m上流にあるNo.1揚水井戸で採水したところ、環境基準を超過した。前回までA-3のみ環境基準を超過していたが、この結果はこれまでのA-3の濃度と同程度であった。今後モニタリングを重ね結果を注視していく。
- その他の地点は環境基準以下の状態が継続している。

# 経堂池の水質等

項目	単位	H22. 5. 31	H23. 5. 26	H24. 6. 29	H25. 8. 8	H25. 10. 18	H25. 12. 5	H26. 2. 25	農業用水 基準
pH(20℃)	20℃	7.6	7.5	7.8	7.0	7.0	採 水 不 能	9.0	6.0~7.5
BOD	mg/L	1.6	3.0	4.2	5.5	1.6		4.0	
COD	mg/L	7.5	7.7	7.1	10	8.5		15	6
SS	mg/L	7	8	7	7.4	8.5		8.9	100
鉛	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		<0.005	
ほう素	mg/L	0.2	0.2	0.2	<0.1	<0.1		0.2	
ふっ素	mg/L	0.09	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08		0.10	
砒素	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		<0.005	0.05
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004		<0.004	
塩化ビニルモノマー	mg/L				<0.0002	<0.0002		<0.0002	
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		<0.005	
電気伝導率	mS/m	39	34.1	32	18	41		53	30
全窒素	mg/L	0.75	0.64	1.04	0.61	0.35		4.22	1
アンモニア性窒素	mg/L				<0.05	<0.05		2.88	
銅	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	
亜鉛	mg/L	0.02	<0.05	0.01	<0.05	<0.05	<0.05	0.5	
全蒸発残留物	mg/L				130	270	310		
塩化物イオン	mg/L				6.4	6.4	35		
栗東市調査									

農業用水基準：農林水産省が学識経験者の意見も取り入れて、昭和45年3月に定めた基準で、法的拘束力はないが、水稻の正常な生育のために望ましいかんがい用水の指標として利用されている。